



長久手市立南中学校 学びのてびき



～目次～

 **自分の考えに自信をもち、学びをつなげよう！** 

国語科	・ ・ ・ ・ ・	P. 1
社会科	・ ・ ・ ・ ・	P. 2
数学科	・ ・ ・ ・ ・	P. 3
理科	・ ・ ・ ・ ・	P. 4
音楽科	・ ・ ・ ・ ・	P. 5
美術科	・ ・ ・ ・ ・	P. 6
保健体育科	・ ・ ・ ・ ・	P. 7
技術科	・ ・ ・ ・ ・	P. 8
家庭科	・ ・ ・ ・ ・	P. 9
英語科	・ ・ ・ ・ ・	P. 10
道徳	・ ・ ・ ・ ・	P. 11
総合的な学習の時間	・ ・ ・ ・ ・	P. 12
特別活動	・ ・ ・ ・ ・	P. 13
特別支援教育	・ ・ ・ ・ ・	P. 14

「言葉」は自分を映す鏡 国語は「言葉」を知る教科 ～自分を表現できる人間になろう～

長久手市立南中学校
国語科担当

なぜ、
国語を勉強
するのかな...



■ 将来役に立つこと

「なんのために国語を勉強するのでしょうか」あなたはわかりますか？

それは、「言葉を通じて、自分を育て、相手とつながることで、より豊かな生活をするため」ではないでしょうか？

例えば、「楽しい」という言葉を知っているからこそ、「楽しい」という感情がはっきりします。さらに「心躍る」「わくわくする」「目を輝かせる」など、言葉を多く知っていれば、より豊かに自分の中にある感情や気持ち、考えをはっきりさせることができ、自分を育てることが出来ます。

また、人と協力しようと思っているときに、意見が分かれることがあります。そんなときに言葉の意味を幅広く理解していたり、適切な言葉を選んだりできれば、お互いの意図を理解できて、考えの対立がプラスになっていきます。人と人とのつながりには、あなたから出る言葉や相手から受け取る言葉がとても大切です。「言葉」は人と人をつなぎます。

あなたがみんなと楽しく幸せに、より豊かに生きていくために国語を勉強して、自分を表現できる人間になっていきましょう！！

■ 中学生で身に付けたいこと

あなたが「言葉」を大切にする人になるために、これらを身に付けられるといいですね。

【幅広く言葉を知り、自分の考えをもつこと】

まずは言葉で自分の考えを整理する。そのために言葉の意味を知ったり、知っている言葉の数を増やしたりして、「言葉」に対する深い理解が必要ですね。

【自分の意見を伝える、表現すること】

伝えるためには、書くこと、話すこと、色々な方法があります。場に応じた「言葉」を選択して、表現できるようになりましょう！

【相手の意図を考えながら、意見をしっかり聞くこと】

話し合いなどの場面で、他の人の意見を聞き、新しい考えを大切にして、自分の考えを深めていきましょう！

【順序立てて考えること】

説明文や論説文を読み、筆者が何を伝えたいのかを整理することが大切です。

【相手の気持ちや立場を考えること】

登場人物の気持ちについて読みとったり、今と昔のものの考え方を比べたりすることが大切です。



過去と現在を知り、 未来をつくる教科

長久手市立南中学校
社会科担当

なぜ、
社会科を勉強
するのかな...



■ 将来役に立つこと

社会科で過去と現在の社会について学んだ皆さんは、未来の社会をつくる担い手となります。将来、どんな時代になろうとも、自分を含めたすべての人が幸せを感じられる、よりよい社会を目指していく上で、次のようなことが役に立ちます。

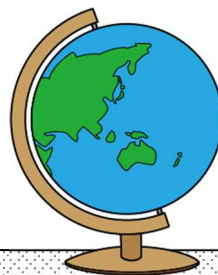
- 1 日本という国の自然の豊かさや先祖が大切にしてきた伝統に気づき、自分たちが住んでいる国をいつまでも大切にしようと思えるようになる。
- 2 他国への理解が深まり、グローバル社会の課題に対して、他国のことを尊重しながら、共栄できる関係をいかに築くかを考えられるようになる。
- 3 自然災害や環境問題、少子高齢化などの様々な課題について、自分なりの対応策や解決策を考え、身近な人と議論ができるようになる。
- 4 自分や愛する家族、大切な友達など、住んでいる社会を大切にするための選択・判断・解決をするような、社会の一員とすることができる。



■ 中学生で身に付けたいこと

これからの社会を生きていく皆さんが、社会とのつながりを知り、よりよいつながり方を考えていくことはとても重要です。そのために社会科の学習では、次のことを身に付けていきます。

- 1 教科書に載っている知識を身に付けること。
- 2 疑問に思ったことを新聞やインターネットを使って自分で調べてまとめる力を身に付けること。
- 3 世の中で起こっていること（起こったこと）について、様々な視点や立場から見て考える力を身に付けること。
- 4 自分の考えをもって友達と議論し、適切に判断する力を身に付けること。
- 5 地球の裏側で起こっていることについても、自分とのつながりを敏感に感じられるような力を身に付けること。
- 6 世の中で起こっていることに対して、深く原因を探ったり、解決策を考えたりしようとする力を身に付けること。

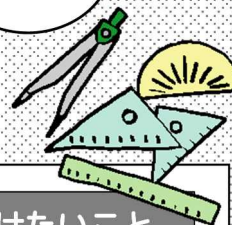


数学科

社会の中の問題に 「答え」を見つける、 数学という見方

長久手市立南中学校
数学科担当

なぜ、
数学を勉強
するのかな...



■ 将来役に立つこと

数学ができて将来役に立ちそうなこと、と聞かれて、何を思いつきますか？

「このお店は何割引だから、これだけ安くなる、というお金の計算に役に立つと思う。」という意見や、「将来ロボットや建物、自動車のような、ものをつくる仕事がしたいから、設計や計算をするのに役に立つんじゃないかな。」という意見があるかもしれませんね。

でも、本当はもっとたくさんのことで、数学って使われているのです。広く社会に目を向けると、成分の含有量により年代を測定する考古学、糖分量により癌を発見する核医学、為替レートで経済状況を予測する経済学など、様々な分野で、数学の世界に置き換えて物事を見ることで、問題を解決しています。また、クレジットカードやインターネット通販といった、情報技術の基盤にもなっており、数学は世界の共通言語として欠かせない存在となっています。

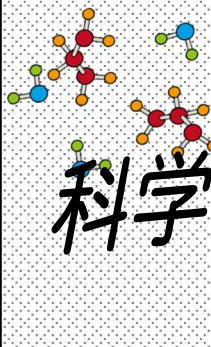
数学の世界には特徴があります。それは、手順や方法をしっかりと追って考える、という、「論理的思考」に沿って考えれば、結論にたどり着くことができるということです。だから、先の見えないとき、判断に迷うとき、新しいものを生み出したいとき、数学的に物事を見て、問題を解決することができるのです。

数学の考え方や、数学的な見方を知って、社会を切り開く力を身に付けて行きましょう。

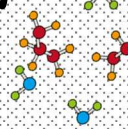
■ 中学生で身に付けたいこと

将来に向けて、論理的な考え方や、数学的な見方を学習するため、数学の授業ではその基礎となる、次の力を身に付けていきます。

1. 負の数や平方根などの新しい『数』を知って、活用できるようにする。
2. 色んな形を『図形』として見ることで、その形の特徴や性質を考えられるようにする。
3. 『数と数の関係性』という目に見えないものを表や式、グラフで表現して、問題を解決したり、物事を予想したりできるようにする。
4. 『データ』を扱う方法を理解し、生活の中で活用できるようにする。
5. 生活の中の現象を『文字を使った式』で表して、物事を数学的に考え、問題を解決できるようにする。
6. 『未知の事柄』を、自分なりの根拠をもとに推論することができる。
7. 自分の考えを人に伝えたり、議論したりするために、物事を言葉や数、式、図、表、グラフなどで『表現』する力を身に付ける。
8. 根拠をもとに、自分の考えたことを『説明』したり、人の考えを受け止めたりすることで、よりよい問題解決を導くことができるようにする。



科学で未来を切り拓く



長久手市立南中学校
理科担当

なぜ、
理科を勉強
するのかな...

■ 将来役に立つこと

みなさんの身の回りには、たくさんの「科学」であふれています。理科を学ぶことは自分の生活を豊かにすることに大いに役立ちます！その一例を紹介します。

1 判断する力をつける

「水素水」「マイナスイオン」など、世の中で体にいいとされているものは、どのような効果があるのか知っていますか？購入する前に一度、理科の知識を使って考えてみましょう。

2 危険を回避する

洗剤に「まぜるな危険」と書いてあるのはなぜ？温泉が湧くような山奥で、死者が出ているのはなぜ？理科を正しく学ぶことで自分の身を守ること安心して生活ができます。

3 自然災害に対応する

地震や台風などの自然災害は避けられないものです。そのメカニズムを知ること、対策を考えることができます。

4 毎日がちょっと楽しくなる

パンケーキが膨らむ理由や重曹で汚れが落ちる理由など、普段の生活の中で新たな発見がたくさんあるはずです。

5 社会に出たときのための思考力をつける

理科では、身の回りで起こる現象の仕組みや法則を取り扱います。その法則に基づいて新しいことを考えたり、比較したりする力は将来必ず役に立ちます。理科の「考察」はそのための練習なのです。

■ 中学生で身に付けたいこと

「なぜ理科を勉強するのですか？」と聞くと、多くの方は「受験に必要だから」「テストに出るから」と答えるかもしれません。長い人生の中で、受験というものはほんの一瞬の出来事です。その一瞬のためだけではなく、長い人生をより豊かにするために理科を学んでほしいと思います。

理科を学ぶ中で身に付けたいことは、「科学的に探究する力」です。分かりやすく言い換えると、「正しいとされる法則やルールを使って物事を考える力」です。ただ、用語や法則を覚えるだけ、思い付きで物事を捉えるだけでは十分ではないのです。

具体的に言うと、対照実験などを通して物事を「比較して」考える力や、新しく取り扱う現象をすでに習った現象や法則と「関連づけて」考える力などです。また結果を予想して、こうすればうまくいくのではないかと考えながら実験する力や実験の結果から新たな法則や疑問を見つけたりする力を身に付けることも大切です。

このような「科学的に探究する力」は、将来いろいろな場面で活用できます。特にこれからはもっと技術が進み、複雑な社会になっていきます。自分の力で、考え、未来を切り拓いていってください。



音楽科

音楽は心を豊かにする

～楽しい！感動した！を

積み重ねよう～



長久手市立南中学校

音楽科担当

なぜ、
音楽を勉強
するのかな...

■ 将来役に立つこと

何のために音楽を学ぶのでしょうか？音楽がなくても生きていけるかもしれませんがね。しかし、実際には色々な場所や場面で音楽が使われ、常に身近なところに音楽があります。日常生活と切り離せない音楽を学ぶことで、役立つことを紹介します。

♪ 何か楽器を演奏したくなった時、歌をうたいたくなった時、音楽で学んだ知識や表現方法が役に立ち、スムーズに始められるでしょう。

♪ 歌が歌える（日本の歌、イタリアの歌、ドイツの歌など）、楽器が演奏できる（リズムが打てる）と、この先海外へ行った時、たとえ言葉が通じなくても音楽を通して心と心が通じ合うことができるでしょう。

♪ 音楽の授業で培った感性が、あなたの生活をより楽しく、豊かなものにしてくれます。

♪ 音楽は生涯を通して楽しむことができます。そのきっかけを見つけることができます。

♪ 将来、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭や音楽関係の仕事を目指す人たちにとって、音楽の学びが役に立つでしょう。

■ 中学生で身に付けたいこと

【音楽を表現するための力】

歌やリコーダー、器楽などで音楽を表現するために必要な用語や記号を覚え、音楽の要素（リズム・音色・旋律・・・）を感じ取れる力を身に付けよう。また、歌をしっかりと歌えるようにするための姿勢や呼吸法、発声方法などの技能を身に付けよう。

【表現を工夫するための力】

様々な表現を試しながら、イメージを膨らませたり、友達に共感したりして、どう歌いたいのか、演奏したいのか、自分の思いや意図をもてるようにしましょう。また、音楽のもつ雰囲気や音楽の要素や歌詞と関わらせて、工夫に活かせる力を身に付けよう。

【よさや美しさを味わって聴く力】

日本の音楽や世界の音楽から、その背景にある歴史や文化、言葉などを知り、比較することで、よさに気付く力を身に付けよう。

【音楽活動を楽しむ力】

仲間と音楽を共有できることは素晴らしいことです。歌ったり演奏したりする中から音楽の楽しさや感動をたくさん味わってください。その楽しさや感動が積み重なってあなたの心も豊かになるでしょう。

豊かな生活を 創造するために

長久手市立南中学校
美術科担当

なぜ、
美術を勉強
するのかな...



■ 将来役に立つこと

1. アイデアやイメージをまとめる力は、美術科が育てる表現の基礎的能力の一つです。アイデアを整理し画面を構成する力を身に付ければ、制作を行う楽しさや面白さが倍増することでしょう。また、アイデアを練るということは、自らの考えをより深く見つめることでもあります。このような考えの深まりは、様々な問題を自分なりの方法で解決していく力につながります。

自分で考え、答えを出し、解決方法を探し出す力の育成は、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新が続く現代社会を、たくましく生き抜くことに役立ちます。

2. 鑑賞活動を通して、作品に対する思いや考えを説明したり、お互いの考えを批評し合ったりしてみませんか。自分と違う考えに驚いたり、感心したり、とても新鮮な発見があるはずです。

それぞれのよさを認めることのできる態度を身に付ければ、人との関わりや生活は豊かになり、より充実した人生を創造することができるでしょう。

■ 中学生で身に付けたいこと

1. 「自己を見つめ、独創的な発想を生み出す力を身に付けよう」

中学生では、心身の成長とともに自己の内面や感情に、より心が向けられるようになります。目に見える世界だけでなく、自分の夢や想像など心の世界を自由に思い描いてみませんか。とっても楽しいはずです。その楽しさが豊かで独創的な発想を生み出してくれます。

2. 「物事の筋道を立てて成し遂げていける力を身に付けよう」

絵画やデザインなどの制作では、配色や効果などを考えながら、伝えたいことを美しく、分かりやすく計画的に制作することが大切です。これは物事の筋道を立てて、実行する力にもつながります。

3. 「豊かな人間性を身に付けよう」

鑑賞では、作品の生まれた時代背景や社会情勢、作者が影響を受けた思想等を知することで、美術の働きや美術文化が、生活や社会と密接につながっていることを学ぶことができます。また、作品から得た感動は、あなたを成長させることができるでしょう。

保健体育科

生涯にわたって
運動に親しむ
～よりよい人生を送るために～

長久手市立南中学校
保健体育科担当

なぜ、
保健体育を勉強
するのかな…



■ 将来役に立つこと

便利な世の中になるにつれ、運動する機会が激減してきています。多くの人が運動不足を感じており、運動したほうがよいということは理解していても、様々な理由によって、特に社会人になった後は生活の中で運動を習慣化するのは難しいと言われています。中学生の時期に多くのスポーツに触れることで、興味と知識と理解を深め、そのスポーツの楽しさを見出しましょう。生涯にわたって運動に親しむ資質と能力を育み、人生がよりよいものになるようにしましょう。

〔運動することで…〕

将来的に健康の保持増進につながる。人前に出たり、人前で話したりすることに抵抗がなくなる。堂々とした態度が身につき、自信がもてる。

〔体を知ること…〕

思春期の自分と向き合い、自分について知ることができる。健康を自分で管理し、健康的な生活を送れるようになる。

〔フェアプレイ精神・ルールを守ること…〕

フェアプレイ精神・ルールを守ることが豊かな人間性をつくる。ルールを知っていることで、スポーツ観戦を楽しむことができる。

〔仲間と協力することで…〕

仲間と一緒に協力することの大切さを学び、仲間を気遣う心を育む。

■ 中学生で身に付けたいこと

幼少期から小学生くらいまでは、ほとんどの人が好んで体を動かしますが、中学生の時期になると体育の好き嫌いがはっきりと分かれ、さらに高校・社会人になると、体を動かすことが苦手な人がより増えてくる傾向にあります。

中学生の時期はまず自分自身と向き合い、どんな課題に対しても前向きな態度で取り組み、失敗や成功などの様々な経験を通して「心」と「体」を成長させよう。

〔運動すること〕

体を動かすことで健康で丈夫な体をつくろう。体を使って堂々とした態度で自分自身を表現しよう。

〔体を知ること〕

体の成り立ちや、器官や生理現象などを知ること、体の大切さに気付き、健全な生活態度を身につけよう。

〔フェアプレイ精神・ルールを守ること〕

ルールを知り、それに沿って試合を行うことで、フェアプレイ精神やルールを守ることの大切さを学ぼう。

〔仲間と協力すること〕

話し合ったり、教え合ったりして、仲間と協力して授業に取り組もう。

社会や生活の中にある 技術を学ぼう

長久手市立南中学校
技術科担当

なぜ、
技術を勉強
するのかな...



■ 将来役に立つこと

日本のものづくりの技術は、世界でもトップレベルです。日本のメーカーは世界の人々を感心させる製品を生み出してきています。その技術は、人々の生活を便利で豊かにし、よりよい社会を実現するために、改善を繰り返し、進歩していきました。あらゆる場面で、ロボットによる自動化が加速度的に進んでいますが、その根底には、人が実際に体験していることが数多くあると思います。

- ・ ものづくりなどの技術に関わる実践的・体験的な活動を通して、日々の生活や社会で役に立つ技能を身に付けることができます。
- ・ ものづくりの工程を学び、実践し、振り返ることは、将来、自分がどんな職業に就くうえでも、どんな役割を任されたときでも、計画的に進めていく場面で生かされます。また、道具や機械の使い方を学ぶことで、工業関係の仕事に就くときに役立ちます。
- ・ 木工、金属、電気、機械などの基礎的なことを身に付けることで、趣味で工作する場面に生かされ、余暇を楽しむことにつながるでしょう。

■ 中学生で身に付けたいこと

技術は、実際にものづくりをしたり、コンピュータの基礎的な知識と技術を学習したりします。

ものづくりをすることで、「わかった」や「できる」という学びや、作品を完成させる達成感を味わってほしいと思います。

- ・ 生活や技術について関心をもち、生活を充実し向上するために進んで実践しようとする態度を身に付けてほしいです。
- ・ 生活に必要な基礎的な技術を身に付けてほしいと思います。
- ・ 生活について見直し、課題を見つけ、その解決に向けて、自分なりに工夫する能力を養ってほしいです。
- ・ 生活と技術との関わりについて理解し、知識を身に付けてほしいです。
- ・ コンピュータの基本的な構成と機能を知り、操作ができるようになってほしいです。

家庭科

自分を見つめ、
「生きる力」を身に付け、
新しい生活へつなげよう

長久手市立南中学校
家庭科担当

なぜ、
家庭科を勉強
するのかな...



■ 将来役に立つこと

家庭科で学んだことは、日々の生活につながることが多く、「衣食住」をより身近に感じ、自分の生活のどこにつながるのかイメージしやすくなります。

1. 「衣」…自分に合った衣服を考えられるようになる。また、その衣服を長く着られるための手入れ方法など、日々の生活に必要なことができる。
2. 「食」…各自の体にあった栄養を考え、食を楽しむことができる。それらを踏まえ、自分で実際に調理し、片づけを身に付けることができる。
3. 「住」…間取りや換気、光や音など快適な住まいにするために必要なことを考え、工夫することができる。
4. 「家族」…家族の役割や地域との関りを持つ中で、家族や他人への思いやりを大切にすることができる。
5. 「消費生活」…ワンクリック詐欺などの悪質商法やプリペイドカードなどの正しい知識を身に付け、トラブルに巻き込まれないようになる。

家庭科からつながる職業

料理研究家・栄養士・保育士・服飾デザイナー・設計デザイナーなど幅広い職業へとつながります。

■ 中学生で身に付けたいこと

私たちの日々の活動は、この先の新しい未来への生活基盤となっています。例えば、一人暮らしをするときの自分のためや家族ができたときの家族のために。人それぞれ場面は違っていても、生活基盤がしっかり作られている人こそ、より多くの場面で自分の力を発揮し、活躍することができます。家庭科では、そんな生活基盤の全てが学びとなり、以下の基礎を身に付けていきます。

1. T.P.O を考えた衣服や自分らしさを表現する衣服を選ぶことができ、より長く衣服を着られる方法を身に付けます。
2. 年齢や性別などにあつた栄養バランスを考えた料理を作る知識や技能を身に付けることができます。これらが、生涯を通して健康でいられる体づくりにつながります。
3. 自分だけではなく、家族も安全で気持ちよく過ごせる空間を考えることができます。
4. 自分を見つめ、今までの成長を振り返り、家族や地域の人への感謝に気付き、人と繋がることの大切さを身に付けることができます。
5. 消費者として、適切な選択や支払い方法を身に付け、よりよい消費生活へつなげることができます。

世界を自分のスタンダードに ～コトバとココロで未来を拓く～

長久手市立南中学校
英語科担当

なぜ、
英語を勉強
するのかな...

■ 将来役に立つこと

グローバル化の急速な発展に伴い、外国の文化を理解したり、コミュニケーションを取ったりする重要性が年々高まっています。外国語を学ぶことは、自分の未来をさらに豊かにさせる大切な時間となります。

- 1 視野が広がり、いろいろな状況や場面に合った考えを持てます。
- 2 職業を選ぶ時に選択できる仕事の種類が増えます。
- 3 日本をさらに好きになれます。
日本以外の国や文化、暮らしに触れることで今まで当たり前で気付かなかった日本人や日本文化の良さに気付けます。
- 4 世界に友達ができます。

英語ができるようになると、世界各国の人々とコミュニケーションを取れるようになり、友達の輪がグンと広がります。世界中に友達がいるなんてなんかカッコいいですね。

- 5 ボーダーレスになれます。

ボーダーレスとは、境界がないことを意味します。人種差別や貧困など世界にある様々な問題を知ることで、自分の心に境界を作らず、物事を平等に見ることができたり考え方を持つことができます。

■ 中学生で身に付けたいこと

現在、英語の知識や運用能力が必要不可欠な仕事は非常に多く、これからも増えていくことが予想されます。将来に向けて英語の授業で次の力を身に付けていきます。

- 1 日常的な話題や社会的な話題について、友達に質問したり質問に答えたりする力を身に付けること。
- 2 日常的な話題について自分の考えや気持ち、その理由を簡単な語句を用いてまとまりのある文章を書く力を身に付けること。
- 3 名詞、動詞、形容詞などの品詞を理解して文章全体の内容から必要な情報を読み取る力を身に付けること。
- 4 英語を理解するために、イントネーションや強弱、音のつながりに気を付けて聞く力を身に付けること。

- 5 日本以外の国や文化について知り、世界で起きていることについて、様々な視点や角度から自分の考えをもつことができる力を身に付けること。

Perfect!



特別の教科 道徳

よりよく生きるために 自分を見つめる

なぜ、
道徳を勉強
するのかな…

長久手市立南中学校
道徳担当

■ 中学生で身に付けたいこと

「君たちはどう生きるか」と聞かれたら、どう答えますか？…難しいですね。でも誰もが「よりよく生きたい」という思いはもっていると思います。道徳では、「よりよく生きる」ために次のことを目指していきましょう。

◇人間らしい心を豊かにする

- ・ 人間らしい心とは、道徳的価値とも言われます。例えば、思いやりの心、生命を大切にする心、くじけず努力する心などです。道徳の授業の中で、自分自身のことを考えたり、人との関わりを考えたりすることで、人間らしい心を豊かにしていきましょう。

◇自分の生き方について考えを深める

- ・ 自分の生き方について考えを深めるとは、「君たちはどう生きるか」という問いに対して、自分の思いをもち、思いを実現するための課題をつかむことです。道徳の授業の中で、友達や家族、学校や地域などの社会、そして自然などに対して、自分はどのように関わるのかを考え、そのとき自分はどのような心をもって関わるのかをみつめていきましょう。

■ 取り組んでいること

◇「気付く」学び

- ・ 事前アンケートをし、その結果を紹介します。
- ・ 日頃の生活の様子を想起し、日常生活場面を振り返りながら、課題や目標を立てていきます。

◇「広げる」学び

- ・ ワークシートに考えを書き、自分の考えや立場をはっきりとさせます。
- ・ 物事を広い視野で、様々な角度から考えられるようにします。
- ・ 一人一人の考えや立場が分かるように、黒板やスクリーンで提示します。
- ・ それぞれの立場の意見から、道徳的価値の対立に対して考え、議論します。

◇「つなげる」学び

- ・ 自分自身と関わらせて、学習目標に対する自分の考えをまとめます。
- ・ 今までの経験や道徳で学んだことを次にどう生かしていけるか考えます。



総合的な学習の時間

ひとりひとりが
輝ける人になるために
～自分の生き方を考えよう～

長久手市立南中学校
総合的な学習の時間担当

総合の時間は
どのような勉強を
するのかなあ...

■ 将来役に立つこと

生徒の皆さんが、総合的な学習の時間に育ててほしい力は「よりよく課題を解決し、自分の生き方を考えることにつなげる力」です。

そのためには、自ら問いを見だし、課題を立て、よりよい解決に向けて積極的に取り組むことがとても大切です。（詳しいことは隣に書いてあります）

なぜなら、皆さんが南中学校を卒業し、成人となって社会で活躍するころは、世界の一体化（グローバル化）が進んだり、科学や生物分野での技術が発展したりします。また、国内においては、超高齢化社会を迎えるなど、予測が困難な時代が待っているからです。

そのような時代において、新たな問題に立ち向かい、仲間と協力しながら問題を解決し、力強く生きていくことができるようになります。



■ 中学生で身に付けたいこと

- 1 疑問に思ったことや不思議に思ったこと、分からないことを自分から調べたり、聞いたりして解決していこうとする姿勢。

この姿勢を「探究心」と言い換えることもできます。探究心が向上してくること、学ぶことがどんどん楽しくなります。

- 2 自ら見つけた疑問や不思議を課題に設定したり、その課題を解決して整理したり、まとめたりすること。

これは学びの過程（プロセス）といいます。「①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→まとめ・表現」という過程を大切に、学びを進めていくことが大切です。

- 3 身近な人々や社会、自然に興味を・関心をもち、それらに積極的に関わろうとする姿勢。

総合の学習の時間では「解決したい！」と心から思えるような課題を設定していくこと、仲間と協力して課題を解決していくことが欠かせません。身近なことにスポットを当ててみると、総合の学習の時間が有意義な時間になるでしょう。

特別活動

「未来」をつくる力をつける！
～「社会」とともに生きるために～

行事や学活、
生徒会活動は
どうしてあるの
かなあ…

長久手市立南中学校
特別活動担当



■ 将来役に立つこと

「特別活動」って何か知っていますか？

みんなが普段行っている

学級活動（学活って言っているね）

生徒会活動（委員会はこちらに含まれるね）

学校行事（体育祭や修学旅行、始業式とか）

のことをまとめて「特別活動」と言います。

じゃあ、机に向かって行うものではない
活動をどうしてわざわざするのだろう？

社会に出ると、年齢や性別、考え方や関心、意見の違いなどをもった人たちとたくさん関わることになります。

そんなとき、お互いを理解したうえで認め合い、お互いのよさを生かすように人間関係を深めていくことがとっても大切です！

人間関係が深まれば深まるほど、よりよいアイデアが生まれたり、自分が納得できる考えにたどり着いたりしやすくなります。それは、豊かな「社会」をつくる近道になっていくことでしょう。

「特別活動」を通して、みんなが将来社会に出たとき、色々な人達とお互いのよさを発揮しながら、より楽しく、よりよく生活していくための力をつけていこう！！

■ 中学生で身に付けたいこと

授業で勉強してきたことを、お互いの違いを認め合い、仲間と協力しながら生かしていく！

「特別活動」は、まさに「学び」をつなげ、「学び」を生かす場です！

学年や性別、考え方や関心、意見の違いなどを理解して認め合う



お互いのよさを生かすような関係をつくること

よりよい学級・学校生活づくりなど、様々な問題を自分から解決しようとする

みんなの中で、現在や将来の自分の生活の課題を発見し、よりよく改善しようとする

とにかく

自分から動き出そうとする気持ち

を身に付けましょう！



特別支援教育

今日の自分より 明日の自分

なんのために
勉強するのかな？

長久手市立南中学校
特別支援教育担当

■ 将来役に立つこと

- 社会の中で、自分の役割を果たせる。
 - ・ 誰かに「ありがとう」と感謝される人になれる。
 - ・ 社会に出て、働くことができるようになる。
- 周りの人と仲良く過ごすことができるようになる。
- 自分にとって好きなこと、楽しみを見つけることができる。

↓↓↓

楽しく豊かな人生を過ごせる人になれる！



■ 中学生で身に付けたいこと

中学3年間は心も体も大きく成長する時期です。素敵な大人になるために、この3年間で次のことを身につけられるといいな…と思います。

1. 自分のことはできるだけ人に頼らず、自分の力でできるようにしよう。

＜例＞ 規則正しい生活のリズム、身支度、着替え、徒歩での登下校、自分の持ち物の管理、手洗い・うがい、食事のマナー、好き嫌いなく食べること、時間を守ること など

2. 困ったときには周りの人に相談したり、「手伝ってください」と頼んだりできるようにしよう。
3. 進んであいさつをし、名前を呼ばれたら返事をしよう。
4. 場面に応じた言葉遣いをしよう。
5. あきらめず、最後まで自分の課題に取り組もう。
6. 勇気を出して、新しいことにも挑戦してみよう。